

検体を寄付された方のご家族の皆様へ （研究に関する情報）

病気の原因の解明、病気の予防・診断・治療の改善、生活の質の向上などのために、人を対象として行われる研究においては、より良い医療の発展のために、多くの患者さんに臨床研究にご協力頂くことが必要です。

量子科学技術研究開発機構、新潟大学脳研究所、東北大学では、新潟大学脳研究所・脳バンクの検体を用いて、以下の人を対象とする生命科学・医学系研究を実施します。このような研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがございましたら、下記の「問い合わせ先：窓口」までご連絡いただけますようお願い致します。

[研究課題名] ヒト脳試料を用いたプロテオーム解析および病理学的解析
（実施期間：許可日～西暦2026年3月31日）

[研究機関及びその長の名前]

国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構量子生命・医学部門（部門長：中野 隆史）
新潟大学脳研究所（所長：小野寺 理）
東北大学大学院薬学研究科・薬学部（研究科長：岩渕 好治）

[研究代表者] 高堂 裕平（量子科学技術研究開発機構量子生命・医学部門 量子医科学研究所）

[研究責任者] 清水 宏（新潟大学脳研究所）
内田 康雄（東北大学）

[研究の目的] ヒトの死後脳の特定領域について、プロテオーム解析や病理組織化学検査、オートラジオグラフィを行い、アルツハイマー病をはじめとする神経変性型認知症の発症過程における、アストロサイトの機能不全メカニズムの解析を行います。

[研究の方法]

新潟大学脳研究所で、診療の経緯で得られる試料・情報を将来さまざまな研究に利用することについて同意を得ており、また亡くなった患者さんの脳サンプルや診療情報を保管してさまざまな研究に利用することについての承諾を得ております。それらの脳サンプルや診療情報を他の情報と照合しない限り特定の個人を識別できないようにして、十分な経験のある専門業者による移送により量研機構に提供していただき^{注1)}、さまざまな解析を行います。

●対象となる脳サンプルの提供元機関名：新潟大学脳研究所

●利用する研究情報：年齢、性別、診断名、病理組織化学検査の結果、生活歴、病歴、臨床検査の結果、服薬歴、家族歴など

注1) 脳サンプルの一部は、必要な解析を行うため、量子科学技術研究開発機構より東北大学へ提供します。

[個人情報の取り扱い]

お名前や個人情報がでることは、一切ありません。

利用する試料・情報からは、お名前、住所など、その他の個人を直接識別できる個人情報は削除して解析を行います。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報が外部に出ることはありません。（個人情報保護法及び各研究機関が定める個人情報保護の規則等に従い、資料の保管管理及び利用等に関する措置を行います。）

この調査へのご協力をお断りになったとしても、なんらかの不利益を受けることはありません。この研究に亡くなった方の試料・情報を使ってほしくないご遺族もしくは代理人の方は、いつでもお断りいただけますので、その場合は、下記[問い合わせ先:窓口]にお申し出ください。ただし、申し出があった時点でデータが解析でまとめられてしまった後等には情報を取り除くことができない場合があります。この場合にも、第三者から個人が特定されるような形で発表することはありません。

[問い合わせ先:窓口]

国立研究開発法人・量子科学技術研究開発機構・量子医科学研究所

電話;043-206-3249 平日:10:00 ~ 16:00

新潟大学脳研究所病理学分野

電話 025-227-0636 平日:10:00 ~ 16:00

東北大学大学院薬学研究科薬物送達学分野

電話 022-795-6831 平日:10:00 ~ 16:00